



# 土浦南ロータリークラブ 週報

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura  
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F  
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール [t\\_minami@lapis.plala.or.jp](mailto:t_minami@lapis.plala.or.jp)

2024～2025年度  
国際ロータリーテーマ



谷神・抜山銃

2025年2月18日 26号  
2025年2月4日 第1例会報告



地区 HP



地区行事予定

- |                   |        |                  |                   |
|-------------------|--------|------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘            | 完賀浩光会長 | 8. 来賓卓話          |                   |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱 |        | 社会福祉法人「茨城いのちの電話」 |                   |
| 3. 来訪者紹介並びに会長挨拶   |        | 後援会幹事 程田充彦様      |                   |
| 4. 幹事報告           | 栗野哲雄幹事 | 9. 出席状況報告        | 出席委員会             |
| 5. 委員会報告          |        | 10. 点 鐘 (点鐘のみ)   | 完賀浩光会長            |
| 6. ニコニコBOXの発表     |        |                  | (司会進行 吉田正一 S A A) |
| 7. 全員協議会          |        |                  |                   |

本日のプログラム  
海田恭敬会員の卓話でございます。

次週のプログラム  
2月25日(火)の例会は、山岡朋和会員の卓話でございます。

## 出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
88	60	7	68.97	4・6	9・11・12・13	16	87.36

## 【委員会報告】

### 雑誌委員会

飯野 豊 副委員長

ロータリーの友2月号では、昨年行われました地区大会の様子が47ページに記載されています。是非ご一読ください。

### 【全員協議会】

完賀 浩光 会長



皆様方にお諮りをする案件でございますが、2027～2028年度地区ガバナーに、当クラブの清野宏之君を推薦する件でございます。手続要覧によりますと、その会員が所属するクラブの例会の採択をもって推薦するということにございますので、その流れに沿った手続きをさせていただきます。

賛成多数ということで、原案通り承認させていただきます。ご協力大変ありがとうございました。



清野宏之 会員

2027～2028年度という事ですので、今後3年間あります。これから懸命に勉強し皆様のご協力を得られるように頑張ってお参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 【来賓卓話】

社会福祉法人「茨城いのちの電話」 後援会幹事

程田 充彦 様



#### 1. コロナ禍以降の自殺者の現状

##### ○自殺者の推移

2003年の3万4千人がピーク

2024年は20,268人（男13,763人・女6,505人）

原因 うつ等の健康問題 生活苦・経済的問題  
（健康問題が経済的問題の引き金）

特徴 男性の割合が68%

小中高の自殺者は527人と過去最高

（高校生349人・中学生163人・小学生15人）

1. 学業不振や進路 2. うつ病など健康

3. 親子関係などの家庭問題

#### 2. 自殺の原因

自殺の根本は孤独である。健康や経済的問題など動機があっても、それだけでは自殺をしない。その結果に孤独が加わると自殺に結び付く。

#### 3. 電話相談のできる事

基本的に問題解決はできない。指導助言をして考えを変えることもできない。

傾聴が基本…ひたすら聴き、相談者の気持ちを理解しようとする。

電話の先に気持ちを理解してくれる人がいると分かってもらう。

#### 4. 茨城いのちの電話の現状とお願い

活動 1. いのちの電話の運営（相談活動）・維持（予算の確保）

2. 相談員の質の向上

3. 相談員のところを守る

課題 1. 相談員の不足

2. 安定的な予算の確保

- 本年開局 40 周年
- 相談員になるには、23 歳以上で約 2 年間の養成講座を受講し認定を受ける。  
受講料は 35,000 円。相談員になっても基本毎月 1 回継続して研修を受ける。  
すべてボランティアなので交通費は支給されない。
- 相談件数  
全国 50 センターで約 55 万件・茨城いのちの電話は約 1 万 5 千件
- 相談者内訳  
男女ほぼ同数で 40 代 50 代が多く、若い世代は少ない。
- 相談活動を支える  
資金 継続研修費・運営費で約 1500 万円  
収入源 85%は個人・法人からの寄付  
10%は自治体・団体からの補助金  
その他は会員の支援・バザー・アルミ缶の回収
- 茨城いのちの電話募金型自販機の設置のお願い  
現在約 80 事業所に 140 台の設置状況

簡単ではありますが、以上が活動報告でございます。今後とも続けてのご支援、どうぞ宜しくお願い申し上げます。本日は卓話の機会を頂きまして、ありがとうございました。



## ～ 第6分区インターシティミーティング ～

2025/02/01  
L'AUBE kasumigaura





高野孫左エ門様



高橋賢吾 I Mリーダー



記念品贈呈

